

編集 新宿区教育委員会 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎ 3209-1111
発行 http://www.city.shinjuku.lg.jp/

しんじゅくの授業が変わります

新宿区教育委員会では、平成21年4月に『学校情報化推進担当』プロジェクトチームを立ち上げ、「誰もが いつでも 簡単に使用できるICT環境！」をテーマにした学校の情報化を進めています。

具体的には、平成23年度までに区立小学校・中学校・養護学校のすべての教室のICT化と学校イントラネットシステム整備を目指します。

今号は、学校の情報化により、しんじゅくの授業がどう変わるのかをお伝えします。



▲ 実物投影機で提示した映像に文字を書き込む児童 ICTモデル教室（四谷第六小学校）にて



今年度から平成23年度にかけて、パソコン、実物投影機、プロジェクトタ等各教室に設置します。プロジェクトタは教室壁面等に設置します。

■ 教室のICT化で授業はどう変わりますか？

■ 現在は何を整備していますか？
今年度は、まず、教員1人に1台のパソコンを配備します。
データは、パソコンではなくデータセンター内サーバーに保存します。このデータは、インターネット回線を通じて先生の自宅からもアクセスできるようになるため、強固なセキュリティのもと、いつでも安心して教材研究等ができるようになります。
また、校務(※)を支援するシステムや教材作成等を支援するシステムを導入します。先生たちの業務を軽減することによって、子どもたちと向き合う時間が増えるようになると考えています。
(※)校務：成績管理や保健管理など学校運営の仕事全般

に固定して設置するほか、1丁教卓を開発し、パソコンや実物投影機を配線したまま収納できるよう工夫をしました。その結果、準備の時間がほぼゼロに短縮され、先生が必要な時にいつでも使うことができるようになります。

■ 教室のICT化により授業はどのように変わりますか？

現在、4つのモデル教室で、試験的にホワイトボードやプロジェクトタを使った授業を行っています。プロジェクトタはとも明るく、教室内の照明をつけたまま映像を投影することが出来ます。映した映像に文字を書き込めるなど、資料提示等の場面で活用できます。このような特性を活かして、先生一人ひとりの創意・工夫を一層生かした指導が可能となります。また、児童・生徒と先生が常に共通の教材をもとに一体感のある授業が実現できます。

実際には、情報機器に慣れている、慣れているに問わず、「授業が変わった」との実感を持ったようです。例えば、教材を映像で提示することにより、児童・生徒の集中力、興味関心が増しているとの声も聞かれました。

■ 学校の情報化を推進するためのポイントは何か？

学校の情報化の成功のためには、「授業のプロ」である先生たちのモチベーションが重要になると考えています。「苦手な先生でも使いたくなるようなICT環境」「使用しやすく、かつ、管理しやすいICT環境」など、先生たちからの目線でICT環境を整備していくことが求められています。

問合せ 学校情報化推進担当
(5273) 3564

「新しい図書館を考えるつどい」でランキング ～新しい中央図書館に望む事項～

新しい中央図書館の検討にあたり、利用者の皆さんから様々な意見を伺う「新しい図書館を考えるつどい」を10月15日から3回にわたって開催しました。参加者の皆さんが利用者の立場から活発に議論を展開し、300もの意見が出されました。今回、新しい図書館に望む事項の優先度ランキングがまとまりましたので、お伝えします。

■ 優先度ランキングのトップ3は以下のとおりです。

順位	ソフト部門		ハード部門	
	項目	点数	項目	点数
1	資料収集の強化	43	ICT環境の強化	30
2	相談機能の強化	39	図書館整備(バリアフリー、ユニバーサルデザイン等)	29
3	図書館に関するイベント等の実施	38	閲覧しやすい空間づくり	23

※ 優先度ランキング点数付けのルール

- ①参加者一人の持ち点：ソフト20点・ハード10点
- ②参加者は、自分の重要だと思う項目に点数をふりわける

このほか第4位にソフト部門『地域との連携』、ハード部門『議論・交流できる空間づくり』が入るなど、上位にはこれからの新しい図書館におけるカギとなる項目が入っています。

なお、項目については、参加者の皆さんから提案された300の意見を集約し、方向付けしたものです。

これらの意見を参考にしながら、新しい中央図書館の基本計画づくりを進めていきたいと考えています。



▲ 議論の様子



▲ 点数付け



▲ 参加された皆さん

問合せ 中央図書館管理係
(3364) 1421

早稲田大学の教授陣による最先端の理科授業

「なぜ!？」からはじまる理科大好きへの第一歩 ~新宿SPP事業~

問合せ 教育指導課 (5273) 3084

SPP(サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト)事業は、文部科学省の「科学技術・理科大好きプラン」の一環として実施されています。学校と大学や研究機関などとの連携により、子どもたちの理科や数学に関する興味・関心と知的探究心を高めることを目的とした事業です。

■12月10日(木)にSPP事業を行った 落合中学校の様子をお伝えします。

当校の第1理科室では、生徒たちが「燃料電池」の原理や仕組みの話に聞き入っていました。

燃料電池とは、水素と酸素から水を作る際の化学反応で電気エネルギーを取り出す装置のこと。水素と酸素があれば電気を作り続けることができることや、発電効率が高く環境汚染物質をほとんど出さないことなどから、新エネルギーのひとつとして期待されています。

講義のあとは、2人1組で「水素-酸素型燃料電池」を作成する実験に入ります。用意されていた実験器具は、プラスチック容器などの身近なもの。また、電気が通るやすいように通常使用される水酸化ナトリウム水溶液の代わりにインスタントコーヒーを使用するなど、実験を難しく感じさせないための工夫が凝らされています。

始めはこわごわと実験器具に触れていた生徒たちも、活発に講師やティーチング・アシストに質問をするようになり、無事に電池を完成させました。生徒たちは、実験の成功を確認するため、電子メモロディを電池につなぎ、電子メモロディから流れる音楽に耳を傾けていました。

この日の講師は、佐藤大先生。「音が鳴ったということは、電気をうまく取り出したということ」と実験の成功をねぎらい、「今日、先生が説明したことを、『もしかしたら間違いないか』という視点で、試してみるということがとても大事なことです」と語りかけていました。



▲電子メモロディは鳴るのかな?



▲質問をしながら実験を進める生徒

新宿区教育委員会では、平成17年度より、早稲田大学先端科学・健康医療融合研究機構の協力のもとSPP事業を推進してきました。

平成20年度からは、新宿区独自のSPP事業とし、区立中学校2校で実施しました。平成21年度からは区立中学校全校(11校)の第2学年(29学級)を対象を拡充し、取り組んでいます。

「平成21年度 新宿SPP事業」の概要は次のとおりです。

■講師 早稲田大学の教授・准教授 1名

■ティーチング・アシスト 早稲田大学修士課程の学生 3名

■趣旨 理科学習の楽しさ・面白さを伝える先端科学技術をふまえた特別授業を行う。

■実施形態 理科の授業(2時間続き)

■内容 「燃料電池」CO₂を出さない次世代のエネルギー「燃料電池」の仕組みを実験を通して学ぶ。

理科の授業をとおして 伝えたいこと

早稲田大学理工学術院
朝日透教授

新宿SPP事業に甚大なご協力をいただいています。ですが、そのきっかけを教えてください。

理科に興味をもつても、保護者の意見やイメージであきらめてしまう子どもが多いように思います。今回の2時間の授業に触れた子どもたちの中から、次代を担う人、または担う人を応援する人がでてくれることを願い、引き受けました。

科学の発展のためには、理科を志す人の間口が広いこととはとても重要なことです。全中学校で本事業を行うことは、とても意味のあることだと思います。

授業中の子どもたちの様子を教えてください。

みんな、一生懸命に授業を聞いてくれていました。目を見開いて聞いてくれてるのが印象に残りました。授業が一方通行にならないように、なるべく子どもたちとやりとりをし、その中でいろいろなことを理解してもらおうと思っています。

子どもたちに伝えたいことはありますか。

「なぜ、そうなるんだろう?」と、論理的に物事を考える重要性を学んでもらいたいです。こういった考え方を特に学べるのが理科で、その他の教科や問題を解決するときにも役に立つものです。

学校図書館へ行こう!

こども図書館では、平成21年7月から、学校図書館へ司書派遣を行っています。



「これ、なあんだ?」「みかん!おいしそう」。淀橋第四小学校学校図書館に繋がったプレイルーム。掲げた絵本を食い入るように見つめ、時にはうなずいたり、質問したりしながら、絵本の読み聞かせに夢中になっている子どもたち。笑顔で本を読んでいるのは、こども図書館の非常勤職員で司書の資格を持つ、宮崎祐美子さんです。

学校図書館への司書派遣は、子ども読書活動の推進の一環として始めたもので、宮崎さんら4人の司書が、利用希望のあった区立の小中学校へ通い、学校図書館の支援を行うというものです。支援の内容は、学校図書館の蔵書構成や本のレイアウトなどに関すること、授業に必要な図書に関して先生のサポートを行うこと、子どもたちが本を選ぶときにアドバイスを行うことなど様々。この日は1年生の国語の時間に「みかんのひみつ」を含めた絵本5冊の読み聞かせを行いました。

読み聞かせが終わると、自由に読書をする時間です。子どもたちは一斉に本棚に向かい、読みたい本を探し出します。司書が子どもたちに本を紹介することも支援のひとつ。本に関する子どもたちからの質問などに答えながら、本を探手伝いをしていました。

「(司書派遣が始まってから)学校図書館や子どもたちが変わりました」と当クラスの担任久保田恵美教諭。もともと、図書スタッフなどの協力を得ながら図書の時間に力を入れていたという淀橋第四小学校ですが、新しい本・おすすめの本のレイアウトの方法や、子どもたちの本への興味・関心の高さが大きく変わったと言います。

現在、派遣司書の渡辺敬子さん、宮崎祐美



▶淀橋第四小学校で読み聞かせをする宮崎さん

問合せ こども図書館

(3364) 1421

図書館からのお知らせ

問合せ 中央図書館 (3364) 1421

中央・四谷・角筈・大久保図書館は、開館時間を延長します ～学校・会社・お出かけ帰りに図書館をご利用ください～

中央図書館と、指定管理者制度を新たに導入する四谷・角筈・大久保図書館では、平成22年4月から開館時間を下記の表のとおり拡大します。
※中央図書館2階にある「こども図書館」は開館時間の変更はありません

	平成22年3月31日まで	平成22年4月1日から
中央図書館 3364-1421	火曜日から土曜日まで 9:00～20:00 日曜・祝休日 9:00～18:00	火曜日から土曜日まで 9:00～21:45 日曜・祝休日 9:00～18:00
四谷図書館 3341-0095	火曜日から土曜日まで 10:00～20:00 日曜・祝休日 10:00～18:00	
角筈図書館 5371-0010 大久保図書館 3209-3812	火曜日から金曜日まで 10:00～19:00 土曜・日曜・祝休日 10:00～18:00	

小さい時から本に親しもう ～絵本でふれあう子育て支援～

新宿区立図書館では、お子さんが小さいうちからの「家庭における読書活動」をおすすめしています。そこで、こども図書館が行っている読書支援の一つをご紹介します。

★3～4か月児には

3～4か月児の健診の際に、各保健センターで絵本2冊『いないいないばあ』と『ぴょん』を差し上げています。

そのうちの1冊をボランティアの方が「読み聞かせ」しています。どうぞお聞き頂き、ご家庭でもお子さんに絵本を読んであげてください。

★3歳児には

3歳児の健診の際に、ボランティアの方による「読み聞かせ」を実施するとともに、健診通知に絵本1冊『どろんこハリー』の引換券を同封しています。

引換券は、お近くの区立図書館で絵本と引き換えることができます。ぜひご家族で図書館に足を運んでみてください。



◀ 牛込保健センターでの読み聞かせ

「以前、ここで上の子どもが絵本を真剣に見ていたことに感激し、家でも読んでいます」と保護者の方。それを聞いた読み手のボランティアも思わず感激!

データベースをご活用ください

新宿区立図書館ホームページに、2つの便利なデータベースが新しく登場しました。新宿区の歴史や文化を調べる際に、ぜひお役立てください。

★新宿区ゆかりの人物データベース

『新宿ゆかりの文学者』（新宿区歴史博物館発行）の内容をデータベース化しました。新宿区にゆかりのある文学者について、肖像写真等とともに、生年月日、没年、職業等、出身、ゆかりの地、プロフィール、著作物一覧、関連資料一覧を調べることができます。

新宿区ゆかりの人物データベースホームページ
<http://www.library.shinjuku.tokyo.jp/jinbutuyukari/index.html>

★新宿区史索引データベース

『新宿区史一区成立50周年記念』の内容をデータベース化しました。新宿区の歴史に関する事柄や参考文献が、区史の何巻何ページに掲載されているかを調べることができます。

※データベース上では本文は見られません。新宿区史の原本は、新宿区立図書館全館および、新宿歴史博物館でご覧いただけます。

新宿区史索引データベースホームページ
<http://www.library.shinjuku.tokyo.jp/kusi/index.html>

図書館員からおすすめの本

『【新釈】走れメロス 他四編』

著者：森見登美彦 出版社：祥伝社



『夜は短し歩けよ乙女』で一躍人気作家となった著者が日本文学を代表する作家たちの代表作を現代の京都を舞台に、独自の文体でカバー。

取り上げられている作家のうち、太宰治、中島敦、芥川龍之介は、実は新宿区にゆかりある人物です。

『東京ぶらり自転車散歩』

編者：実業之日本社 出版社：実業之日本社

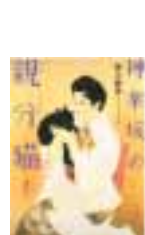


一昨年の原油高、エコ、メタボ対策などで空前の自転車ブーム。この本は「散歩の気分でのんびり走ろう」＝「散歩」の道案内をしてくれます。

新宿はJR新宿駅西口からスタートして約10kmのコースを紹介。東京の街並み、歴史、自然を、交通ルールを守って安全に楽しんでみませんか?

『神楽坂の親分猫』

著者：黒川鍾信 出版社：講談社



「神楽坂の親分猫」とは、神楽坂に今も残るホン書き旅館「和可菜」の黒猫メメのこと。最近ではこの「和可菜」で、山田洋次監督が『たそがれ清兵衛』を書き上げたそうです。他にも野坂昭如、竹山洋などの作家が名作を生み出した「出世旅館」として知られています。

この本では、彼らが愛した家猫メメが語り手となり、作家の逸話や神楽坂の裏話のことを紹介していきます。ちなみにメメは、テレビドラマ『拝啓、父上様』のエンドロールに登場しました。

都会よりもゆったりとした春の訪れを感じてみませんか

ヴィレッジ女神湖観光付きバスのご案内

「新宿区発ヴィレッジ女神湖行き観光付きバス」では、厳しい寒さも落ち着き、次第に暖かな春の訪れを感じる3月から5月までのコースを企画しています。シーズン最後のスキーコースや、信州の春を代表する名所巡りなど、各種コースをご用意しています。ぜひご利用ください。

観光付きバスの詳細・価格や予約等は、ヴィレッジ女神湖のホームページをご覧ください。ただか、あんしん宿予約センターへお問い合わせください。各出張所・区民センター・図書館等でもチラシを配布しています。通常のご利用もお待ちしております。

観光付きバスの受付窓口

あんしん宿予約センター TEL 03 (3263) 1415

受付時間 午前10時～午後6時 (土日祝も営業)

ヴィレッジ女神湖 TEL 0267 (55) 6100

一般利用の受付窓口

日本通運(株)東京旅行支店 新宿区役所内営業所
月～金 TEL 03 (5273) 3881

受付時間 午前9時～午後5時 (祝日除く)

土日祝 TEL 03 (6251) 6560

受付時間 午前10時～午後6時

宿泊のみの方はこちら

3月～5月 観光付きバスのご案内

コース名		日程	料金(大人1名)
～晴天率80%のエコーパレーでスキー&スノーボード～ 家族で!仲間で!スキー三昧コース	2泊	3/20(土)～3/22(月)	21,400～26,000円
～ゆったりくつろぎの旅～ 温泉巡りと上田城コース	2泊	3/23(火)～3/25(木)	19,900～26,000円
		3/26(金)～3/28(日)	
～ショッピングと歴史を楽しむ～ アウトレットと小布施・善光寺巡り	2泊	3/29(月)～3/31(水)	19,900～26,000円
～お花見づくし～ 高遠さくら祭りとお上田城千本桜まつりコース	1泊	4/8(木)～4/9(金)	13,200～15,500円
		4/12(月)～4/13(火)	
～感動の上高地とワイナリー～ 新緑の上高地と日本最大級ワイナリーで 楽しもう!コース	1泊	5/8(土)～5/9(日)	13,700～16,000円

■ ヴィレッジ女神湖ホームページ (<http://www.megamiko.jp/>)

学校わくわく情報局

早稲田幼稚園 親子で餅つき大会

「よいしょー!!」「よいしょー!!」園児の威勢のいい声が響きわたる早稲田幼稚園の園庭。園児の他にお父さん、お母さん、早稲田小学校の先生も交じってみんなで餅つき大会が行われました。もち米を始めにつくのは大人たち。その迫力に園児も大喜びです。続いて園児も餅つきに挑戦します。大きな杵を持ちあげながら一生懸命につき、最後は力を合わせて出来上がったお餅を、おいしそうにほおばっていました。



愛日小学校 一流シェフに学ぶ料理教室



愛日小学校で「一流シェフから学ぶ料理教室」が開かれました。6年生の子どもたちはシェフの指導のもと、野菜のブイヨンスープ・鶏肉と茸ポテトのトマト煮・サラダ・モンブランと本格的な「フランス料理コースメニュー」に挑戦しました。

今回の料理教室のために校舎脇で育ててきたジャガイモ・カブ・大根・レタスを収穫、食材としました。慣れない手つきながらも、楽しそうに調理する子どもたち。次々に食材が調理されていき、部屋には香ばしいにおいがたちこめます。

ナイフやフォークの使い方などテーブルマナーも合わせて学んだ子どもたちは「自分で育てた野菜を自分で作って食べることができて嬉しい」と笑顔を浮かべていました。

淀橋第四小学校 「生命のゆりかご」 マングローブの森



Photo by プルメリア

「地球で困っていることがあります。それは何かわかりますか?」「地球温暖化!」。日ごろから環境学習で地球規模の環境問題について学んでいる子どもたち。今日は地球の二酸化炭素吸収源として大切な役割を果たしてくれるマングローブの森について学んでいます。マングローブの森は沿岸に生える



ため埋め立てなど開発の犠牲になりやすく、結果、二酸化炭素を吸収できなくなるばかりか、魚のすみかがなくなったり、津波の被害を受けやすくなることが説明されました。失われるマングローブの現状に子どもたちの表情は真剣そのもの。マングローブの種を植林する活動があることを知った後、グループに分かれ、一人ひとりが身近なことから地球を守るためにできることは何かを話し合い、「なるべくゴミは出さない」「コンセントは抜く」と決意を新たにしました。

落合第四幼稚園 ふれあいのつどい



園児の祖父・祖母、それから地域の尚寿会の方々26名が落合第四幼稚園にやってきました。今日を心待ちにしていた子どもたちは、早速一緒に「お寺のおしょうさんが～」と歌いながら手遊びをし、「じゃんけんぽん!」「勝った～」「あ～負けちゃった」と大はしゃぎです。自然と大人たちから笑みがこぼれます。



続いて自分たちの大好きな歌を5歳児、4歳児、3歳児がクラスごとに披露。大きな声で元気よく歌いました。また、折り紙、剣玉、紙飛行機、こま回し、オセロなどたくさんのコーナーが用意され、おじいちゃん、おばあちゃんと思いに遊んだ子どもたちは、別れの際名残りおしそうにずっと「バイバイ、バイバ-イ!」と手を振っていました。

落合第一小学校 東京手描友禅 染色体験

落合第一小学校の4年生が地域にお住まいの5名の伝統工芸士の指導のもと、東京手描友禅の絵付けを体験しました。

下絵が描かれた絹の染こぎれに子どもたちは慎重に筆を入れていきます。伝統工芸士が間近でブロの技を披露すると、その繊細な筆のタッチや色使いに、感動する子どももいました。まぶしいほど鮮やかなもみじ、散りゆくはかなさを表現した花びらなど、こぎれは子どもたちの豊かな感性に彩られました。

新宿の地場産業である染色業を身近に感じ子どもたちは「とても楽しかった」「またやりたい」と話していました。



西戸山中学校 寒さを吹き飛ばし 体力アップ!!

西戸山中学校では陸上競技部を中心に毎朝早くから、体力向上の取り組みを続けています。その活動の様子を見に、寒い朝早くに西戸山中におじゃましました。校庭にはすでに沢山の生徒たちが集まり、練習に打ち込んでいます。苦しい表情を全く見せずにランニングし続ける生徒、重たそうなパーベルを持ち上げる生徒、けんすいやタイヤ押しなどで筋力アップをはかっている生徒。それぞれの真剣でひたむきな姿に驚きました。

部活動に参加する生徒のほかに、体を動かすことが好きな生徒たちも自主的にトレーニングに参加しています。「基礎体力づくりを中心としたメニューを週二回、それ以外はそれぞれの種目の練習を行います」と話すのは陸上競技部顧問の市村先生。たまに、受験を控える3年生の生徒が「体がなまるから」と自主的に練習に参加することもあるといいます。

西戸山中は今年の新宿区中学校総合体育大会陸上競技大会で2年連続となる男女総合優勝を果たしました。



教育委員会の動き

教育委員会について

教育委員会は、区議会の同意を得て区長が任命した6名の委員で構成する合議制の執行機関です。

会議は、毎月1回第1金曜日(都合により変更あり)に定例会を、また、必要に応じて臨時会を開催して、教育行政の基本的施策の決定や議案の審議をするほか、諸事項について事務局から報告を受けています。

今号では、平成21年11月6日から平成22年1月27日までに開催された教育委員会の主な議決事項等をお知らせいたします。

議案

公の施設の指定管理者の指定について(四谷、角筈、

大久保の各図書館)

新宿区指定文化財の指定について(善国寺の石虎)
新宿区教育委員会教育長の給料等及び勤務等に関する条例の一部を改正する条例
新宿区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

第八次 学校適正配置計画の基本方針について
平成22年度新宿区立幼稚園及び子ども園の学級編制方針の一部変更について
新宿区指定文化財の指定について(丸藤宮元講社の富士講行事)

報告事項

新中央図書館等の検討経過について
牛込A地区学校適正配置 統合協議会設置に対する意見・要望等について
学校選択制度等に関する意識調査について

教育委員会はどなたでも傍聴できます

会議の日時、場所、議案については、区役所本庁舎の門前掲示場に掲示しています。

傍聴をご希望される方は、開始時刻の10分前までに会議場へお越しください。その場で傍聴券をお渡しします。ただし、お酒を飲んでいる等傍聴するのに不適当と認められるときや会議場の都合で多くの方が入場できないときには、傍聴をお断りする場合があります。

また、議案等の内容が個人情報に関係するなど会議を公開することが不適当と教育委員会が決定した場合は、非公開とすることもありますので、あらかじめご了承ください。

問合せ 教育政策課管理係 (5273)3070

本紙に関するお問合せ 教育政策課企画調整係 (5273)3074